



陳情第 5 号

霧島市議会議長
中村 正人 殿

2017年 12月 8日

陳情団体：霧島市社会保障推進協議会
霧島市国分中央三丁目 22-18
会 長 原 口 兼 明

霧島市の医療を充実するための陳情書

【陳情趣旨】

2016年度の国民生活基礎調査では、全世帯中 56.5%が「生活が苦しい」と答えるなかで相次ぐ負担増は、霧島市民の暮らしにも大きな負担となっています。

国民健康保険は、保険税を払えず期間を限って発行する短期保険証や、受診の時に治療費全額を窓口で払う資格証明書が発行されています。このような状況のなかで、全国だけでなく霧島市でも受診控えによる死亡事例が発生しています。霧島市の資料（平成 29 年 4 月）では、国民健康保険加入者 27,874 人のうち、滞納を理由とした期間を区切って発行する短期保険証は 1,755 人、資格証明書（保険証がない人）は 56 人にものぼります。

2018 年度から国民健康保険税の都道府県化により、霧島市は、県から求められる納付金を 100%納める必要があり、一般会計からの繰り入れによる国保税負担の軽減策が必要です。必要な医療が受けられない人を出さないため、誰もが負担できる国保税の実現を求めます。

【陳情事項】

- 1 霧島市の国民健康保険税引下げを継続すること

2,928 筆